

[引受保険会社]



redefining / standards

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

# 変額保険 グローバルミックス

## 月次運用レポート

### 2013年11月

[利用する投資信託の委託会社]

**アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社**



アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

### 特別勘定の運用方針について

基本資産 配分比率	運用方針	利用する投資信託	
		投資信託名	委託会社
株式 50%	日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。 基本資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。 運用の決定にあたっては、収益性、安全性、流動性に配慮し、運用環境の動向に応じた資産配分を行います。 (特別勘定の運用は、アクサ生命保険株式会社 ALM & 特別勘定運用部が行います。)	アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 適格機関投資家私募	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
		アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) 適格機関投資家私募	
		アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) 適格機関投資家私募	
		アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) 適格機関投資家私募	
		アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) 適格機関投資家私募	
債券 50%			

特別勘定の運用方針、利用する投資信託および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。

特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

- ・アクサ生命保険株式会社の「変額保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「変額保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

# 変額保険

## 特別勘定の月次運用レポート (2013年11月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

### 運用環境 [ 2013年11月 ]

#### 【日本株式市場】

日本株式市場は、TOPIX(東証株価指数)が前月末比5.39%上昇の1,258.66ポイントで終了しました。

月前半は、ECB(欧州中央銀行)の予想外の利下げで為替が円高に振れたことなどから一時下落しましたが、その後は、2013年7-9月期のGDP(国内総生産)速報値が予想を上回ったことなどから上昇しました。月後半は、年初来高値に近付いたことへの警戒感などから弱含む局面もありましたが、米国株式市場が一部の経済指標の改善を受けて過去最高値を更新したことに加え、円安が進んだことなどを背景に上昇しました。

業種別(東証33業種)では、株式市場の上昇を好感し「証券、商品先物取引業」(前月末比+12.48%)が最も上昇した一方、為替の円安進展から「空運業」(同4.38%)が最も下落しました。

#### 【外国株式市場】

米国株式市場は、月前半、市場予想を上回る経済指標や、次期FRB(米連邦準備制度理事会)議長候補のイエレン副議長が上院公聴会で金融緩和策の継続を示唆したことなどから、上昇しました。月後半は、10月のFOMC(米連邦公開市場委員会)議事要旨から量的緩和縮小が意識された一方、緩和的な政策自体は長期化するとの見方などから上昇基調で推移し、NYダウは、前月末比3.48%上昇の16,086.41ドルで終了しました。

欧州株式市場は、ECB高官から金融緩和姿勢が示されたことや、ドイツ主要政党内閣で連立政権樹立について合意されたことなどにより、ドイツ株式市場が上昇する一方で、英国で利上げ時期が早まる可能性との観測などから英国株式市場が下落し、また、フランス長期価格付け引き下げなどによりフランス株式市場が下落しました。市場別騰落率は、英FT100が前月末比1.20%下落、仏CAC40が同0.11%下落、独DAXが同4.11%上昇となりました。

#### 【日本債券市場】

日本債券市場は、月前半、国債需給の逼迫感が強いものの、国内株式市場の上昇や米国の金利上昇などを背景に、金利は上昇(価格は下落)しました。月後半は、40年物や2年物の国債入札が好調だったほか、日本銀行の国債買い入れペースで需給逼迫が意識されるなど低下(価格は上昇)基調で推移しましたが、月を通してみると、新発10年国債利回りは0.600%となりました(前月末は0.590%)。

日銀はマネタリーベースが年間約60~70兆円に相当するペースで増加するように金融市場調節を行いました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

#### 【外国債券市場】

米国債券市場は、月前半、10月の非農業部門雇用者数が市場予想を上回り、市場参加者の間で量的緩和の早期縮小観測が高まったことなどから、金利は上昇(価格は下落)しました。月後半も、10月のFOMC議事要旨から量的緩和縮小が早まるとの見方がさらに強まり、上昇基調で推移しました。米10年国債利回りは、月末は2.745%となりました(前月末は2.554%)。

欧州債券市場は、月前半、ECBが市場予想に反し政策金利を引き下げたことなどから、金利が低下(価格は上昇)する局面もありましたが、堅調な米雇用統計などを受けて、上昇(価格は下落)しました。月後半は、10月のFOMC議事要旨から米国の量的緩和縮小が早まるとの見方が強まり、上昇しましたが、その後は、ECBの追加金融緩和観測の高まりなどから低下し、月を通してみると、独10年国債利回りは、月末は1.693%となりました(前月末は1.674%)。

FRB(米連邦準備制度理事会)は、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.0~0.25%を維持しました。ECBは政策金利を0.25%引き下げ、年0.25%としました。

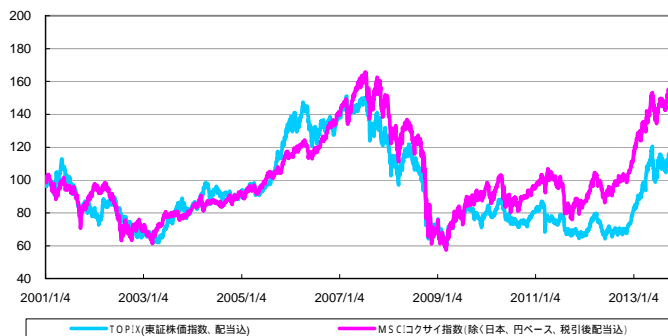
#### 【外国為替市場】

米ドル/円相場は、月前半、堅調な米雇用統計などを受けて米ドル買いの動きが強まり、日米金利差の拡大も後押しとなり、円安が進行了。月後半も、米国の量的緩和縮小観測を背景に円安米ドル高が加速し、円は対ドルで前月末比3円91銭(3.97%)円安ドル高の1ドル=102円42銭となりました。

ユーロ/円相場は、月前半、ECBが政策金利を引き下げたことなどからユーロが売られ一時的に円高となった後、ドイツ株式市場が上昇するにつれてユーロも上昇し、円安の動きとなりました。月後半は、ドイツで野党が大連立政権の樹立に合意したことなどからユーロが上昇し、円は対ユーロで前月末比4円19銭(3.10%)円安ユーロ高の1ユーロ=139円46銭となりました。

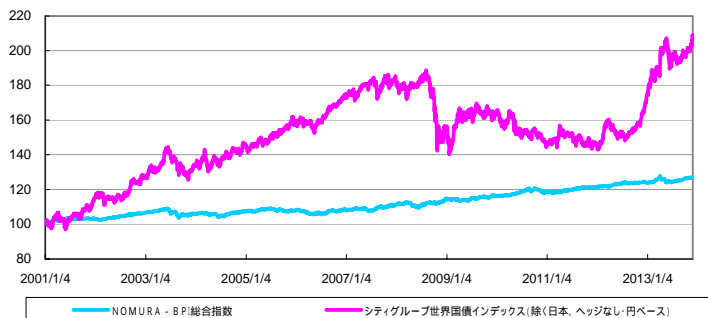
#### 日本と外国の株式市場の推移

\*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

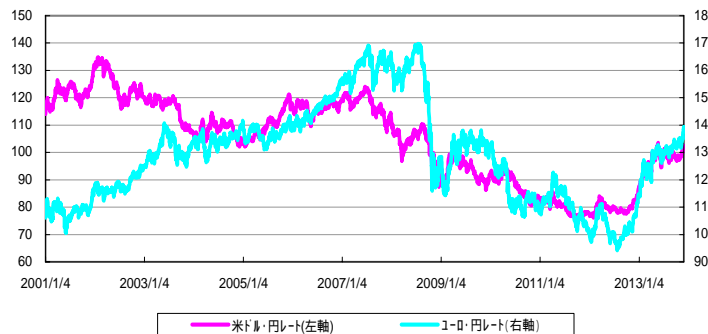


#### 日本と外国の債券市場の推移

\*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



#### 外国為替市場の推移



出所: 株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

## 変額保険

### 特別勘定の月次運用レポート (2013年11月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

#### 特別勘定の運用状況 [2013年11月 末日現在]

##### 特別勘定のINDEXの推移

特別勘定のINDEXは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



	2013年11月末	2013年10月末	2013年9月末	2013年8月末	2013年7月末	2013年6月末
INDEX	1.073	1.052	1.040	1.011	1.022	1.008
	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
騰落率 (%)	2.02	6.17	5.46	21.52	25.89	7.35

特別勘定のINDEXは、2000年8月1日を1.00として計算しています。

騰落率は、該当月の月末のINDEXに対する当月末のINDEXの変動率を表しています。

##### 特別勘定資産の内訳

項目	金額(千円)	比率 (%)
現預金・その他	1,787,696	4.3
その他有価証券	39,648,154	95.7
アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A)	4,142,624	10.0
アクサ ローゼンバーグ・日本バリュウ株式ファンド(B)	6,223,043	15.0
アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A)	6,600,405	15.9
アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A)	4,243,082	10.2
アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)	18,438,998	44.5
合計	41,435,850	100.0

各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

##### 特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当月のINDEX騰落率等は上記をご参照願います。  
資産配分につきましては、基本資産配分を概ね維持しております。(株式部分は、日本株式25%、欧米株式25%の資産配分といたしました。)  
今後も引き続き、運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。

##### [引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# 変額保険

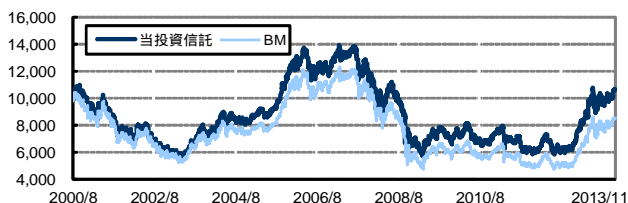
## 特別勘定の月次運用レポート (2013年11月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 適格機関投資家私募 の運用状況

[ 2013年11月 末日現在 ]

#### 当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2000年8月3日)の前日を10,000として指数化しています。

#### 利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 適格機関投資家私募  
 【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社  
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に投資します。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本株式マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

#### 当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	5.75%	14.09%	10.62%	60.79%	52.30%	6.38%
BM	5.39%	13.80%	10.82%	61.07%	46.20%	15.10%
差	0.35%	0.29%	0.20%	0.27%	6.10%	21.48%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年8月3日)の前日を起点として計算しています。投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)<sup>1)</sup>です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

#### マザーファンド受益証券の詳細情報

##### 業種別構成比率

業種	マザーファンド
1 輸送用機器	12.10%
2 銀行業	10.89%
3 電気機器	10.56%
4 情報・通信業	7.28%
5 卸売業	6.21%
6 小売業	6.15%
7 化学	6.01%
8 医薬品	4.15%
9 その他業種	35.55%
10 現金等	1.09%
合計	100.00%

##### 市場別構成比率

市場	マザーファンド
1 東京証券取引所第一部	98.91%
2 現金等	1.09%
合計	100.00%

#### 組入上位10銘柄

銘柄	業種	マザーファンド
1 トヨタ自動車	輸送用機器	4.69%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.62%
3 日本電信電話	情報・通信業	2.17%
4 ソフトバンク	情報・通信業	1.95%
5 本田技研工業	輸送用機器	1.92%
6 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.90%
7 KDDI	情報・通信業	1.76%
8 キヤノン	電気機器	1.38%
9 みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.35%
10 日立製作所	電気機器	1.25%
合計		21.99%
組入銘柄数		263銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

#### 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比+5.75%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)の騰落率は、前月末比+5.39%となりました。当月の日本株式市場は、配当利回りの高い銘柄が相対的に下落する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはマイナスへ寄与しました。委託会社独自の業種別ではベンチマーク対比で、上昇した移動体通信や事務機器を多めに保有していたことや下落した建設を少なめに保有していたことはプラスに寄与しましたが、上昇した機械やITハードウェアを少なめに保有していたことや下落した銀行を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄では、ベンチマーク対比で、上昇した日鉄住金物産(9810)、KDDI(9433)を多めに保有していたことはプラスに寄与しましたが、下落したヨロズ(7294)、ニチイ学館(9792)を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、ポートフォリオをベンチマークからの乖離が一定の範囲内に収まるよう構築することで、中・長期的な観点から安定的にベンチマークを上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ~8ページに記載されている「\*1~\*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

#### [引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# 変額保険

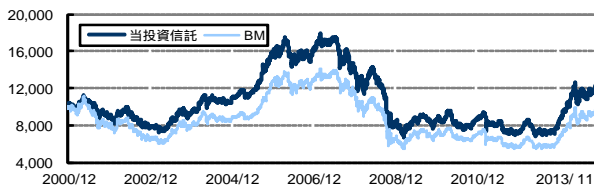
## 特別勘定の月次運用レポート (2013年11月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) 適格機関投資家私募 の運用状況

[ 2013年11月 末日現在 ]

#### 当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

#### 当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	6.04%	14.55%	10.57%	62.16%	50.55%	23.84%
BM	5.39%	13.80%	10.82%	61.07%	46.20%	2.38%
差	0.64%	0.75%	0.25%	1.09%	4.35%	26.22%

#### 利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) 適格機関投資家私募  
【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社  
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

#### マザー・ファンド受益証券の詳細情報

##### 業種別構成比率

業種	マザー・ファンド
1 電気機器	10.79%
2 輸送用機器	10.77%
3 情報・通信業	10.37%
4 銀行業	9.77%
5 化学	8.09%
6 医薬品	5.57%
7 卸売業	5.55%
8 証券・商品先物取引業	4.99%
9 その他業種	32.58%
10 現金等	1.53%
合計	100.00%

##### 組入上位10銘柄

銘柄	業種	マザー・ファンド
1 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.73%
2 キヤノン	電気機器	3.22%
3 日本電信電話	情報・通信業	3.22%
4 トヨタ自動車	輸送用機器	3.06%
5 KDDI	情報・通信業	3.04%
6 NTTドコモ	情報・通信業	2.70%
7 日立製作所	電気機器	2.60%
8 伊藤忠商事	卸売業	2.59%
9 東海旅客鉄道	陸運業	2.49%
10 日産自動車	輸送用機器	2.29%
合計		29.94%
組入銘柄数		116銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

#### 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比+6.04%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)の騰落率は、前月末比+5.39%となりました。当月の日本株式市場は、配当利回りの高い銘柄が相対的に下落する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはマイナスへ寄与しました。委託会社独自の業種別ではベンチマーク対比で、上昇した事務機器、その他金融、移動体通信を多めに保有していたことはプラスに寄与しましたが、下落した空運を多めに保有していたことや上昇したITハードウェアや機械を少なめに保有していたことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄では、ベンチマーク対比で、上昇したセイコーエプソン(6724)、KDDI(9433)を多めに保有していたことはプラスに寄与しましたが、下落した日本航空(9201)、日産自動車(7201)を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ～8ページに記載されている「\*1～\*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

#### [引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# 変額保険

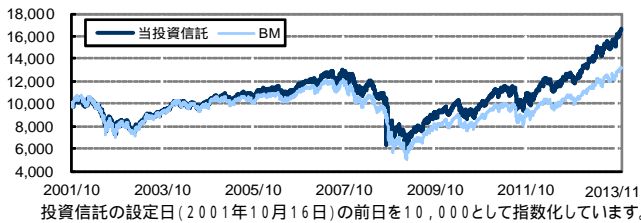
## 特別勘定の月次運用レポート (2013年11月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) 適格機関投資家私募 の運用状況

[ 2013年11月 末日現在 ]

#### 当投資信託の基準価額の推移



#### 利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) 適格機関投資家私募  
 【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャー株式会社  
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として米国の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」(バリューストック)を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・米国株式マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

#### 当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	3.42%	11.70%	11.47%	35.02%	67.24%	66.24%
BM	2.48%	10.27%	9.14%	27.35%	50.67%	32.43%
差	0.94%	1.43%	2.32%	7.67%	16.58%	33.81%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、S & P 500 種株価指数<sup>2</sup>(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)です。

1月15日から1月27日までホームページに掲載しておりました左記「当投資信託の騰落率」のBMおよび差に誤記載がございました。それにともない上記推移グラフのBMの推移および下記運用コメント内の前月末比騰落率も差替えを行い、現在は正しい数値となっております。この度はご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。今後はこのような事のない様、ご契約者様向け資料につき、十分注意作成していく所存でございますので、ご理解賜りたくよろしくお願ひ申し上げます。

#### マザーファンド受益証券の詳細情報 セクター別構成比率

セクター	マザー・ファンド
1 ソフトウェア・サービス	10.63%
2 医薬品・バイオテクノロジー・ライフ	9.59%
3 エネルギー	8.64%
4 資本財	8.56%
5 各種金融	8.03%
6 テクノロジー・ハードウェア	5.59%
7 食品・飲料・タバコ	5.54%
8 ヘルスケア機器・サービス	5.14%
9 その他業種	37.87%
10 現金等	0.41%
合計	100.00%

正)

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	3.42%	11.70%	11.47%	35.02%	67.24%	66.24%
BM	2.48%	10.27%	9.14%	27.35%	50.67%	32.43%
差	0.94%	1.43%	2.32%	7.67%	16.58%	33.81%

誤)

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	3.42%	11.70%	11.47%	35.02%	67.24%	66.24%
BM	2.73%	10.54%	9.41%	27.66%	51.04%	32.76%
差	0.68%	1.16%	2.05%	7.36%	16.20%	33.48%

#### 組入上位10銘柄

銘柄	国名	セクター	マザー・ファンド
1 APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	2.61%
2 GOOGLE INC-CL A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.22%
3 EXXON MOBIL CORPORATION	アメリカ	エネルギー	2.12%
4 PFIZER INC	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフ	2.11%
5 WELLS FARGO & COMPANY	アメリカ	銀行	1.85%
6 MERCK & CO. INC.	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフ	1.44%
7 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.38%
8 COMCAST CORP-CL A	アメリカ	メディア	1.37%
9 ORACLE CORPORATION	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.33%
10 GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	1.30%
合計			17.74%
組入銘柄数			212銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

#### 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比+3.42%となりました。一方、ベンチマークであるS & P 500 種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)の騰落率は、前月末比+2.48%となりました。

当月の米国株式市場は、株価を1株あたりの利益と比較した時に割安であった銘柄が相対的に下落する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはマイナスへ寄与しました。委託会社独自の業種別ではベンチマーク対比で、下落したREIT、電力を少なめに保有していたことはプラスに寄与しましたが、上昇した家庭用品や石油販売を少なめに保有していたことはマイナスに寄与しました。

一方、個別銘柄ではベンチマーク対比で、上昇した半導体・半導体製造装置のMicron Technologyやソフトウェア・サービスのYahoo! を多めに保有していたことはプラスに寄与しましたが、下落したソフトウェア・サービスのElectronic Artsやテクノロジー・ハードウェアのCisco Systemsを多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、米国企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ～8ページに記載されている「1～4」の用語説明は、9ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# 変額保険

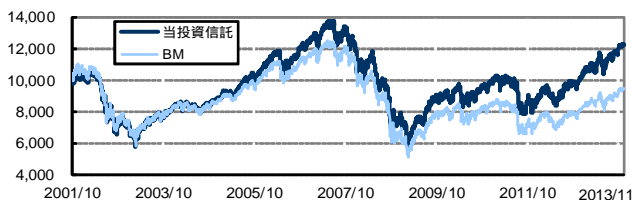
## 特別勘定の月次運用レポート (2013年11月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) 適格機関投資家私募 の運用状況

[ 2013年11月 末日現在 ]

#### 当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を10,000として指数化しています。

#### 当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	0.48%	8.25%	7.14%	23.61%	31.93%	22.44%
BM	0.39%	7.33%	5.69%	18.29%	18.87%	5.75%
差	0.10%	0.92%	1.45%	5.32%	13.06%	28.19%

#### マザーファンド受益証券の詳細情報

##### 国別構成比率

順位	国名	マザーファンド
1	イギリス	30.99%
2	ドイツ	14.90%
3	フランス	13.80%
4	スイス	12.96%
5	オランダ	6.14%
6	スペイン	4.07%
7	スウェーデン	4.06%
8	イタリア	3.04%
9	その他の国	9.33%
10	現金等	0.70%
合計		100.00%

##### 組入上位10銘柄

順位	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	3.14%
2	SIEMENS AG	ドイツ	資本財	2.37%
3	GLAXOSMITHKLINE PLC	イギリス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	2.35%
4	NOVARTIS AG-REG SHS	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	2.30%
5	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品・飲料・タバコ	2.11%
6	BP PLC	イギリス	エネルギー	2.09%
7	DAIMLER AG	ドイツ	自動車・自動車部品	1.79%
8	ROCHE HOLDING AG-GENUSS	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.77%
9	VODAFONE GROUP PLC	イギリス	電気通信サービス	1.61%
10	ASTRAZENECA PLC	イギリス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.43%
合計				20.94%
組入銘柄数				190銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

#### 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比+0.48%となりました。一方、ベンチマークであるMSCI欧州株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)の騰落率は前月末比+0.39%となりました。当月の欧州株式市場は、市場全体に対し比較的堅調であった銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスへ寄与しました。委託会社独自の業種別ではベンチマーク対比で、下落した金属や石油サービスを少なめに保有していたことはプラスに寄与しましたが、下落したメディアや小売を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄ではベンチマーク対比で上昇した医薬品のAstrazeneca(イギリス)や食品・飲料・タバコのCarlsberg(デンマーク)を多めに保有していたことはプラスに寄与しましたが、下落した電気通信サービスのTelefonica(スペイン)や商業・専門サービスのSerco Group(イギリス)を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、欧州企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

#### 利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) 適格機関投資家私募  
 【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

#### 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として欧州地域の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」(バリューストック)を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・欧州株式マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCI欧州株価指数<sup>3</sup>

(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)です。

比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

#### セクター別構成比率

順位	セクター	マザーファンド
1	医薬品・バイオテクノ・ライフ	11.52%
2	銀行	10.62%
3	資本財	9.45%
4	食品・飲料・タバコ	8.39%
5	エネルギー	7.62%
6	電気通信サービス	7.53%
7	保険	6.86%
8	素材	6.10%
9	その他業種	31.20%
10	現金等	0.70%
合計		100.00%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ~8ページに記載されている「\*1~\*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# 変額保険

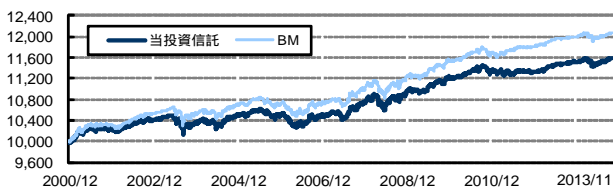
## 特別勘定の月次運用レポート (2013年11月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) 適格機関投資家私募 の運用状況

[ 2013年11月 末日現在 ]

#### 当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

#### 当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定以来
投資信託	0.05%	0.55%	1.24%	0.68%	2.27%	15.99%
BM	0.08%	0.49%	1.16%	0.76%	3.51%	20.85%
差	0.03%	0.06%	0.08%	0.09%	1.24%	4.86%

#### 利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) 適格機関投資家私募  
 【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社  
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、原則としてわが国の公社債に投資を行い、ベンチマークを中長期的にみて、上回る運用をめざします。外貨建資産に投資した場合は、原則として為替ヘッジを行います。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本債券マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

\*「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、日興債券パフォーマンス・インデックス(総合、中期3年以上7年未満)です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

#### マザーファンド受益証券の詳細情報 資産構成

	修正デュレーション	マザーファンド
公社債	4.26年	99.21%
国債	4.94年	74.73%
地方債	0.00年	0.00%
特殊債・財投債	1.56年	5.75%
金融債	0.99年	0.94%
社債等	2.45年	17.80%
その他	0.00年	0.00%
短期資産等*	0.00年	0.79%
合計	4.23年	100.00%

\* 債券先物を含みます。

#### 公社債の格付別構成比率

格付区分	マザーファンド
AAA	0.00%
AA	88.05%
A	10.04%
BBB	1.90%
BB以下(無格付含)	0.00%
合計	100.00%

格付基準:

海外格付機関の格付を優先します。  
海外格付機関の格付取得の無い発行体は、国内格付機関の格付けを採用します。

「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

#### 組入上位10銘柄

順位	銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
					ムーディーズ	S&P	
1	第303回利付国債(10年)	日本	1.400%	2019年9月20日	Aa3	AA-	8.53%
2	第300回利付国債(10年)	日本	1.500%	2019年3月20日	Aa3	AA-	5.94%
3	第106回利付国債(5年)	日本	0.200%	2017年9月20日	Aa3	AA-	5.81%
4	第305回利付国債(10年)	日本	1.300%	2019年12月20日	Aa3	AA-	5.46%
5	第322回利付国債(10年)	日本	0.900%	2022年3月20日	Aa3	AA-	4.35%
6	第101回利付国債(5年)	日本	0.400%	2016年12月20日	Aa3	AA-	3.86%
7	第314回利付国債(2年)	日本	0.100%	2014年3月15日	Aa3	AA-	3.46%
8	第109回利付国債(5年)	日本	0.100%	2018年3月20日	Aa3	AA-	3.26%
9	第295回利付国債(10年)	日本	1.500%	2018年6月20日	Aa3	AA-	2.97%
10	第315回利付国債(10年)	日本	1.200%	2021年6月20日	Aa3	AA-	2.97%
合計							46.61%
組入銘柄数							46銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

#### 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月比+0.05%、一方、ベンチマークである日興債券パフォーマンス・インデックス(総合、中期3年以上7年未満)は前月比+0.08%となりました。

米国の雇用市場および住宅市場で緩やかな回復が見られました。良好な内容の経済指標の発表により、米国国債利回りは小幅上昇しました。安倍首相の経済政策と日銀の積極的な金融緩和を受けて、日本経済は上向いてきていますが、付随的に円安も進行し、円は対ドルでリーマンショック直後以来の安値水準にまで下落しました。しかし、企業は依然として今後の成長見通しについて慎重で、内需の持続的な回復にとって重要な、基本給の引き上げには前向きではありません。

当月の新発10年国債利回りは、0.01%上昇の0.60%となりました。当月の当投資信託は、ベンチマークとほぼ同じリターンとなりました。委託会社は、市場参加者の多くは日銀によるもう一段の金融緩和が行われると予想していることから、日本国債市場はレンジ内取引が当面続く予想しています。今後の当投資信託の方針としては、イールドカーブ戦略では平坦化を見込む戦略を維持し、デュレーション戦略はベンチマークをやや下回る水準とする予定です。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

#### ポートフォリオの状況

	マザーファンド
平均複利利回り	0.26%
平均クーポン	1.16%
平均残存期間	4.37

「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ~8ページに記載されている「\*1~\*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>



## 用語説明

- \*1 「東証株価指数(TOPIX)」とは、東京証券取引所第一部に上場する国内株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。  
東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(以下「東証」)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は東証が有しています。  
東証は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- \*2 「S & P 500種株価指数」とは、スタンダード・プアーズ社が公表している株価指数で、米国の主要500社によって構成されています。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード・プアーズ社に帰属しています。S & P 500種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、S & P 500種株価指数(米ドルベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
- \*3 「MSCI欧州株価指数」とは、MSCI Inc. の算出する欧州株式市場の動きを示す指数です。MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。  
また、MSCI Inc. は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI欧州株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、MSCI欧州株価指数(ユーロベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
- \*4 「日興債券パフォーマンス・インデックス(総合)」とは、日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社が発表している、日本の債券市場の動きを表す指数です。国債、地方債、政府保証債、財投機関債、金融債、事業債などの円建て公募利付債で構成されています。対象となる債券は残存年数1年以上、残存額面10億円以上で、格付機関からBBB格相当以上の格付を取得している発行体に限られます。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はSMBC日興証券株式会社に帰属します。また、SMBC日興証券株式会社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

## 注意事項

### 変額保険の仕組み

変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。

\*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。

### 変額保険のリスクについて

#### 市場リスク

特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額(有期型の場合、満期保険金を含む)や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

#### 信用リスク

万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

## 契約月別の運用実績の例

(一時払、男性40歳加入、基本保険金額1,000万円の場合)

契約日	終身型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成12年 8月 1日	1,000	-486	7.35	0.53
平成12年 9月 1日	1,000	-493	5.76	0.42
平成12年 10月 1日	1,000	-471	8.78	0.64
平成12年 11月 1日	1,000	-453	11.24	0.82
平成12年 12月 1日	1,000	-432	14.08	1.02
平成13年 1月 1日	1,000	-413	16.60	1.20
平成13年 2月 1日	1,000	-424	14.47	1.06
平成13年 3月 1日	1,000	-390	19.36	1.40
平成13年 4月 1日	1,000	-370	22.04	1.58
平成13年 5月 1日	1,000	-392	18.15	1.33
平成13年 6月 1日	1,000	-384	18.88	1.39
平成13年 7月 1日	1,000	-371	20.53	1.52
平成13年 8月 1日	1,000	-345	24.08	1.76
平成13年 9月 1日	1,000	-307	29.41	2.13
平成13年 10月 1日	1,000	-260	36.03	2.56
平成13年 11月 1日	1,000	-275	33.24	2.40
平成13年 12月 1日	1,000	-280	32.01	2.34
平成14年 1月 1日	1,000	-279	31.59	2.33
平成14年 2月 1日	1,000	-253	35.19	2.58
平成14年 3月 1日	1,000	-259	33.68	2.50
平成14年 4月 1日	1,000	-272	31.25	2.36
平成14年 5月 1日	1,000	-265	31.83	2.41
平成14年 6月 1日	1,000	-267	31.07	2.38
平成14年 7月 1日	1,000	-230	36.14	2.74
平成14年 8月 1日	1,000	-196	40.87	3.07
平成14年 9月 1日	1,000	-193	40.86	3.09
平成14年 10月 1日	1,000	-163	44.87	3.37
平成14年 11月 1日	1,000	-160	44.85	3.40
平成14年 12月 1日	1,000	-173	42.33	3.26
平成15年 1月 1日	1,000	-145	46.07	3.53
平成15年 2月 1日	1,000	-119	49.56	3.79
平成15年 3月 1日	1,000	-112	50.15	3.85

契約日	終身型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成15年 4月 1日	1,000	-107	50.33	3.90
平成15年 5月 1日	1,000	-123	47.26	3.72
平成15年 6月 1日	1,000	-136	44.73	3.58
平成15年 7月 1日	1,000	-152	41.69	3.40
平成15年 8月 1日	1,000	-160	39.89	3.30
平成15年 9月 1日	1,000	-167	38.34	3.22
平成15年 10月 1日	1,000	-168	37.72	3.20
平成15年 11月 1日	1,000	-177	35.84	3.08
平成15年 12月 1日	1,000	-172	36.06	3.13
平成16年 1月 1日	1,000	-181	34.22	3.01
平成16年 2月 1日	1,000	-191	32.31	2.89
平成16年 3月 1日	1,000	-200	30.44	2.76
平成16年 4月 1日	1,000	-211	28.35	2.62
平成16年 5月 1日	1,000	-208	28.30	2.63
平成16年 6月 1日	1,000	-197	29.41	2.75
平成16年 7月 1日	1,000	-206	27.66	2.63
平成16年 8月 1日	1,000	-188	29.74	2.83
平成16年 9月 1日	1,000	-187	29.48	2.83
平成16年 10月 1日	1,000	-185	29.28	2.84
平成16年 11月 1日	1,000	-180	29.56	2.89
平成16年 12月 1日	1,000	-188	27.86	2.77
平成17年 1月 1日	1,000	-200	25.72	2.60
平成17年 2月 1日	1,000	-198	25.59	2.61
平成17年 3月 1日	1,000	-208	23.61	2.45

注(1) 保険金額は、基本保険金額に変動保険金額を加えた保障額を示したものです。ただし、変動保険金額が負値の場合、保険金額は基本保険金額を表示しています。

(2) 契約月別運用実績は、契約時点に特別勘定に投入した金額の平成25年11月末までの運用実績を示したものです。  
なお、この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられたものを控除した部分の伸び率です。

(3) 年複利は契約月別運用実績を年複利換算したものです。

(4) 終身型は、平成17年3月31日で販売終了しています。

(5) 有期型は平成14年10月31日で販売終了しています。平成24年10月31日で全ての契約が保険期間を満了しました。